

# 令和2年度静岡県さくら写真コンクール入賞作品選評

## 「総 評」

今年の応募作品は、

「桜の風景」部門	470点	(前年度 428点)
「富士山と桜」部門	239点	(前年度 229点)
合 計	709点	(前年度 657点)


去る5月27日に3名の審査員により審査が行われました。

今年は新型コロナウイルスの影響から、応募点数の動向が心配されましたが、全体の応募点数は前年度より52点増加いたしました。

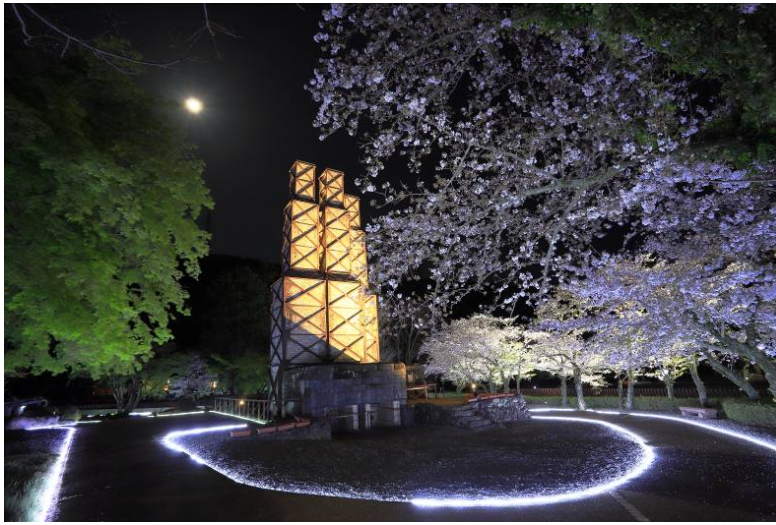
作品の内容は例年と比べてもなんら遜色なく、2次予選通過後の最終段階には実力拮抗した作品により順位決定には悩む場面もありました。

ただし、応募作品の多くのプリントで感じたことは、良い条件で撮影しているものもあるのですが、自宅プリンターによるプリントだと思われそうですが、色の調整で手を入れすぎて、派手な色調にするあまり自然の色を壊している作品が多く目立ちました。

今後の作品制作に際しましては、加工ありきではない自然の魅力ある作品の応募を期待いたします。

	<b>最優秀賞</b>	
	部門	部門共通
	作品名	夜明けの桜
	撮影地	駿東郡小山町新柴
	撮影者	上野 祐司 (神奈川県)
	<p>&lt;選評&gt; 朝日に輝く富士山をバックに満開の桜で構成されています。 この写真の魅力は、富士山頂の雪に射しこんだ朝日の光の神々しい位の美しさでしょうか、前面の桜の花も控えめなトーンで描写されており、山頂の光をより一層強めております。画面の構成力、撮影技術など総合的にも素晴らしく、結果的に最優秀の作品となりました。 事前のロケハン等を含む努力の集大成の結果だと思えます。</p>	

# 「桜の風景」部門



## 特選

作品名	反射炉夜桜
撮影地	伊豆の国市韮山反射炉
撮影者	高橋 浩 (伊豆の国市)

### <選評>

韮山反射炉の夜景です。桜の花と反射炉がライトアップされており、道も LED ライトで照明されています。反射炉を中心に桜の花、道の明かりでうまく画面を構成しており、また月も良い位置に入っています。作者の力量を感じさせてくれる作品です。



## 準特選

作品名	ひとりだけのお花見
撮影地	島田市大津谷川堤防
撮影者	久保田 政司 (藤枝市)

### <選評>

堤防の桜並木を一人の少女が散歩しているところをスナップしている写真です。桜の幹や花の重量感も素晴らしいのですが、少女の着物の色が草の緑に映えて美しく、表情も自然で好感がもてます。画面構成も秀逸です。



## 準特選

作品名	霧の水目桜
撮影地	島田市川根町家山
撮影者	遠藤 蔵成 (静岡市駿河区)

### <選評>

ここの桜は 毎年多くの写真が応募されてきますが、電線や後ろの白い建物の処理が難しい被写体です。しかしこの写真は早朝の霧のある時間帯に撮影されており、電線を避け、霧を利用して建物もうまく処理しています。何度も挑戦しての結果だと推測します。良い写真に仕上がっています。

## 「富士山と桜」部門

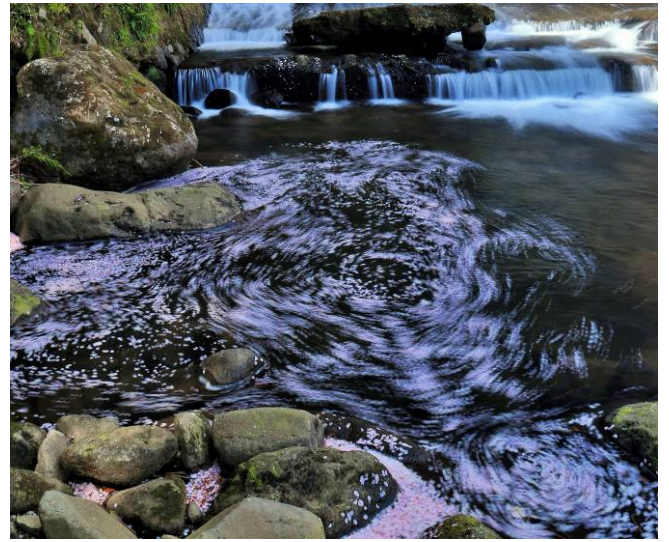
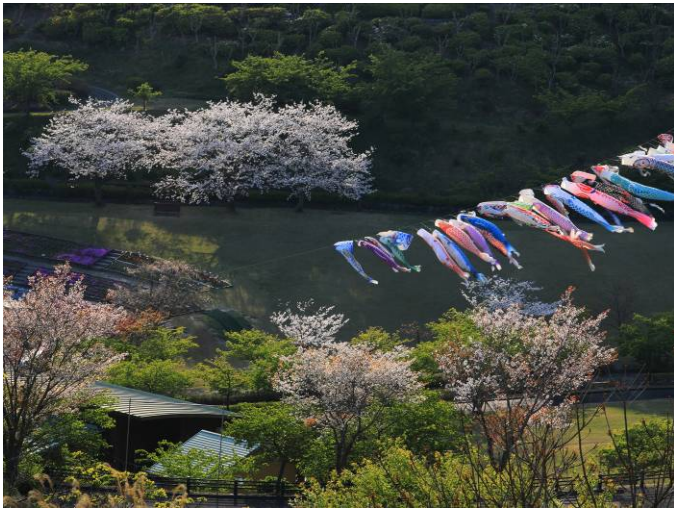
	特 選	
	作品名	春はあけぼの
	撮影地	明星山公園
	撮影者	宮崎 泰一 (富士市)
<p>&lt;選評&gt;                      山の上から遠景の富士山を撮影しています。やや逆光気味ですが前面に桜の花と街並みを入れ、雪を被った富士山に朝日が昇る瞬間を撮っています。色調は抑え気味ですが、朝の凜とした空気が表現されており力のある写真になっています。</p>		
	準特選	
	作品名	海辺の春
	撮影地	沼津市井田
	撮影者	佐藤 美栄子 (神奈川県茅ヶ崎市)
<p>&lt;選評&gt;                      駿河湾を挟み、遠景の富士山と西伊豆井田の岬と桜で構成しています。この場所も毎年撮影されている場所です。                      画面中央にポイントとして一艘の舟を配しており、画面に緊張感を出しております。</p>		
	準特選	
	作品名	豆桜の彩り
	撮影地	伊豆市湯ヶ島
	撮影者	筒井 章 (伊東市)
<p>&lt;選評&gt;                      満開の豆桜、(別名富士桜、箱根桜とも呼ばれているようです) 前面に大きく配置して、遠くに山並みと富士山を配置しています。この場所も何回も撮られている被写体です。                      作者の気持ちが入った作品だと思います。</p>		

	特別賞（道路利用者会議会長賞）	
	作品名	夜桜ロード
	撮影地	裾野市
	撮影者	飯田 龍治 （御殿場市）
<選評> 裾野市のパノラマロードでの撮影です。夜間の撮影で、スローシャッターで車のテールランプの光を流しています。桜の花と富士山のバランスも良く、力強い作品になっています。		

他に両部門から 10 点の入選作品が決定いたしました。

全体を通じて良い作品を何点も出されていた方が数人おられました。一人一賞の決まりから一点のみの入賞となっております。今回入賞を逃した方も次回の挑戦を期待いたします。

入 選（「桜の風景」部門）



作品名	春爛漫
撮影地	御前崎市下朝比奈
撮影者	平野 スエジ

作品名	散花の流れ
撮影地	長泉町
撮影者	衛藤 一男



作品名	山里に咲く
撮影地	静岡市葵区柘沢
撮影者	小沢 大介

作品名	優美（ユウビ）
撮影地	島田市川根町
撮影者	飯田 拓司



作品名	鎮守の桜
撮影地	掛川市
撮影者	後藤 正徳

入 選 (「富士山と桜」部門)



作品名	月夜の湖畔
撮影地	富士宮市田貫湖
撮影者	加藤 昇



作品名	早春
撮影地	沼津市井田
撮影者	藤井 昭浩



作品名	春の訪れ
撮影地	富士市岩本山
撮影者	相羽 強

作品名	春紅に染まって
撮影地	伊豆市下白岩
撮影者	菅沼 英已



作品名	残照
撮影地	富士宮市大石寺
撮影者	渡辺 英基

--	--

コンクールの審査は、四つ切写真での審査を行っております。  
本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品  
とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。